

# 議論するSDGs テキストの使い方

SDGsの17の目標別にテキストがあります。このテキストは、QAを手掛かりに、SDGsについて、議論するために構造化しています。

学習者の実態に応じて、例示した実践パターンを選び、取り組んでください。

テキストは①→②→③→(④↔⑤)→⑥の流れで使うと効果的です。

半分に切って、左半分をはじめに渡し、Qを考えた後、Aの説明がある右半分を提示するのも良いでしょう。各ページに名前を記入する欄があります。

それぞれをノートに貼り、調べたことを追記させるスペースを確保できるようにすることも良いでしょう。

The image shows two pages of a worksheet for discussing SDG 1 (No Poverty). The left page is titled '議論するSDGs 目標1 貧困をなくそう' and contains the following sections:

- 1** 世界の2019年の人口は、77億人です。その中で、1.9ドル（約200円）で1日の生活をこなすはならない「絶対的貧困」の人口が約7.3億人もいます。日本でも、地域によって大多数の人と比べて貧しい「相対的貧困」の人は、約15.4%もいるのです。
- ◆絶対的貧困**：人間として生きるうえで、最低限の生活ができない状態
- ◆相対的貧困**：その国の文化水準、生活水準と比べて貧しい状態
- 2** 貧困によってどのような問題が起こるでしょう。当てはまるものにしるし☑をつけましょう。
- 食事が満足に取れないので、栄養不良になりやすい。
- 病院に行けないので、小さい子供たちの死が増える。
- よい教育を受けられないので、大人になっても貧乏の安い仕事にしかつけない。
- お金がなく、盗みなどの犯罪に手をそめてしまう人が増える。
- 4 Discussion** 貧困について、教育・医療・差別などとの関係を考え、議論しましょう。自分の意見を書きましょう。

The right page is titled '目標1「貧困をなくそう」 議論するSDGs' and contains the following sections:

- 3** **すべて当てはまる** <日本ユニセフ協会より>
- 右のユニセフの動画を見ましょう。  
<https://youtu.be/xP2VncH9tLY>
- 貧困は様々な面で悪い状況を作り出します。貧困状態では、食事が満足に取れません。体や心が弱がり、死んでしまうこともあります。また病気になっても病院に行けません。
- ユニセフ（国連児童基金）とWHO（世界保健機関）の調査によると、貧困と比べて貧しい国では、児童や新生児の死亡率は大幅に高くなっています。
- 貧困は、立場が弱い女性や子供たちに大きく関わっています。
- 2000年以降は、児童や子供たちの死亡率は低くなってきていますが、出産中に亡くなったり、未熟児で生まれたり、感染症などに死したケースはまだ多くあります。
- よい教育を受けられないので、大人になっても貧乏の安い仕事にしかつけないこともあります。その結果お金がなく、盗みなどの犯罪に手をそめてしまう人が増えることもあります。
- 5 Discussion** 議論のヒント
- ・貧困地域では、学校に行けないうちから働かなくてはなりません。
- ・貧困地域では、手助けできる感染症も手助けできず、命を落とされています。
- ・貧困地域では、女子が教育を受けられないなどの差別があります。
- 6** SDGs目標1「貧困をなくそう」について、自分の考えをまとめて書こう。
- 名前 ( )

学習者の実態と授業時間に合わせ取り組んでください。

- ・ 読む→Qを考える→Aを読む→議論のヒントを読む→意見を書く→議論する→考えをまとめ書く
- ・ 読む→Qを考える→Aを読む→意見を書く→議論のヒントを読む・調べる→議論する→考えをまとめ書く



## 実践例

### 実践パターン A

読む→QA→意見を書く→議論する→まとめる

- ① の目標に関わる話題を読む。指導者が補足し導入的に扱う。
- ② のQ(問題)を読み、考え、書く。
- ③ のAを読み、Qに対して問題意識をもつ。
- ④ にQAの学習を手掛かりに意見を書く。
- ⑤ の議論のヒントを参考に④の意見に追記する。
- ④ に書いた意見をもとに議論する。
- ⑥ にSDGsの目標に対しての自分の考えをまとめとして書く。

### 実践パターン B

読む→QA→調べる→意見を書く→議論する→  
調べる→議論する→まとめる

- ① の目標に関わる話題を読む。指導者が補足し導入的に扱う。
- ② のQ(問題)を読み、考え、書く。
- ③ のAを読み、Qに対して問題意識をもつ。
- ④ に意見を書く。書いた意見をもとに議論する。
- ⑤ の議論のヒントを参考に調べる。
- ④ に意見を追記する。
- ④ に書いた意見をもとにさらに議論する。
- ⑥ SDGsの目標に対しての自分の考えをまとめとして書く。

QAの学習を手掛かりに、テーマについて調べる。

実践Aとの違いは、それぞれの課題に対して、調べる学習を入れることです。ただ「調べなさい」と指示するのではなく、A(答え)の部分を読むことによって、課題がはっきりしてきます。

SDGsのノートを作り、このテキストをノートに貼り、各自で調べたことを書き込ませた実践が報告されています。また、テキストの空きスペースに調べたことを書き込んでいる実践もあります。学習者が自ら調べ、調べたことをもとに議論するSDGsの学習が展開されることを期待します。